

平成27年10月26日  
林野庁東北森林管理局  
置賜森林管理署

## 一貫作業システムの現地検討会について

戦後、植林されたスギ等の人工林の多くが本格的な利用を迎え、各地の森林では、これまでの間伐に加え皆伐も行われるようになってきています。

しかし、木材価格の低迷などにより林業経営の厳しい状態が続く中、伐採後の再造林などが進まず、森林資源の持続的利用の視点から、その対策が課題となっています。

林野庁東北森林管理局においては、これら森林・林業を巡る課題の解決に向け様々な先駆的な取組を実施し、その知見を森林・林業関係者に広げて行くこととしており、その一環として再造林の拡大のための林業の低コスト化に向けた技術の開発及び普及を推進しております。

置賜森林管理署においても地域林業の低コスト化に資するため、今年度の主伐箇所において低コスト化の取組（伐採と植付の同時実施）を先駆的に行いました。

今回、署において実施した事業の結果及び置賜総合支庁、東北森林管理局の取組について、下記のとおり講演及び現地検討会を開催いたします。

### 記

1 日時 平成27年11月5日(木)

(1) 講演 10:00～12:00

(2) 現地検討会 12:45～15:00

2 実施場所

(1) 講演 アスモ3階 多目的ホール

(2) 現地検討会 滝ノ沢入国有林 38か林小班

3 内容

(1) 講演

①東北森林管理局における低コスト林業の紹介

②木材生産の増強と再造林の促進

③置賜森林管理署の一貫作業システムの実施結果について

(2) 現地検討会

事業実施箇所における結果説明、質疑

なお、先進的な技術の一つである「コンテナ苗」の実物及び植付方法も紹介する予定です。

問合せ先



林野庁東北森林管理局

置賜森林管理署

担当 瀬高

電話 0238-62-2246

FAX 0238-62-3553